

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

2015年9月、150を超える加盟国首脳が参加した第70回国連総会において、持続可能な開発目標 (SDGs) が採択された。17目標、169ターゲット、230指標の三重構造で、経済・社会・環境の3つの次元が統合された。国連に加盟するすべての国は、2030年までに、ここにある17の目標を達成すべく力を尽くすことが求められている。

出典 / 国際連合広報センター

Blipparをダウンロードしてアイコンをスマホで読み込んでみよう!

※App Store/Google Playストアでダウンロードできます。



目標1:あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。

目標2:飢餓を終わらせ、食糧安全保障および栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。

目標3:あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。



目標4:すべての人々への包括的かつ公平な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。

目標5:ジェンダー平等を達成し、すべての女性および女子のエンパワーメントを行う。

目標6:すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。

目標7:すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な現代的エネルギーへのアクセスを確保する。

目標8:包括的かつ持続可能な経済成長、およびすべての人々の完全かつ生産的な雇用とディーセント・ワーク(適切な雇用)を促進する。



目標9:レジリエントなインフラ構築、包括的かつ持続可能な産業化の促進、およびイノベーションの拡大を図る。

目標10:各国内および各国間の不平等を是正する。

目標11:包括的で安全かつレジリエントで持続可能な都市および人間居住を実現する。

目標12:持続可能な生産消費形態を確保する。

目標13:気候変動およびその影響を軽減するための緊急対策を講じる。*



目標14:持続可能な開発のために海洋資源を保全し、持続的に利用する。

目標15:陸域生態系の保護・回復・持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の防止・防止および生物多様性の損失の防止を促進する。

目標16:持続可能な開発のための平和と包括的な社会の促進、すべての人々への司法へのアクセス提供、およびあらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包括的な制度の構築を図る。

目標17:持続可能な開発のための実施手段の強化し、グローバル・パートナーシップを活性化させる。



※国連気候変動枠組条約 (UNFCCC) が、気候変動への世界的対応について交渉を行う一義的な国際的、政府間対話の場であると認識している。



水野雅弘さん
株式会社TREE代表。大手企業に対し20年以上のコンサルティング経験と実績を持つマーケティング戦略コンサルタント。持続可能な社会への普及啓発事業に注力し、COP10開会式の映像をはじめ、数多くの映像作品を手掛ける。

映像の力で、対話を生み出す。世界と取り組む「SDGs.TV」プロジェクト。

—株式会社TREE

みなさんは2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標 (SDGs)」をご存知だろうか。貧困撲滅や気候変動対策、不平等の是正など、世界を変えるために掲げられた17の目標のことだ。それらに関連する短編映像を視聴できるプラットフォーム「SDGs.TV」を運営する株式会社TREEの代表・水野雅弘さんに、品川のとあるカフェでお話を伺った。

text: Mikako Hirose



問題の発見から行動へ
世界を変える一歩を促す

「SDGsのそれぞれの目標について、詳しく説明できますか?」
水野さんはそう問いかけると、おもむろにポケットからスマートフォンを取り出し、SDGsのアイコンにかざした。すると、Blippar※1というアプリを通じて「SDGs」に関連する短編映像が液晶画面に映し出された。いわゆるAR(拡張現実)だ。目標を文字で読むだけではなく、その内容を理解するのはなかなか難しい。SDGs.TVでは、17の目標に沿った世界各地で起こっている具体的な問題と行動指針が数分でまとめられた映像を配信している。映像として観ることにし、問題に気づき、自分事として考えることができるという。

水野さんがグリーンTVジャパン※2を立ち上げたのは2007年。今年でちょうど10周年を迎え、これまで作ってきたプログラムの数は実に1200本以上。そのうちの100本がSDGs.TVに提供されている。

「SDGs.TVはプラットフォームです。アイデアのある人、お金のいる人、時間のある人、体力のある人など、それぞれが得意なことを

持ち寄ってここに集まり、アクションへ繋がります。たとえば、フードマイレージ※3をちゃんと意識している人はまだ少ないのが現状です。日本の食料自給率は39%と非常に脆弱で、しかも、1人当たりのフードマイレージは世界1位。一方、まだ食べられるのに廃棄される食品ロスは、年間約632万吨にも上ります。世界では1日に4万人が餓死しているのに、世界全体の食料援助量約320万吨(2014年)の2倍近くの食品がわが国で捨てられているということなんです。その現状をまず知ることから始めたいですね。」

2011年、水野さんはお子さんの誕生を機に、鎌倉から和歌山に住まいを移した。

「紀州材100%の木造住宅に住み、エネルギーは薪ストーブと太陽光発電、庭には無農薬の家庭菜園、口にする野菜・果物・魚はほぼ10km圏内の最小限のフードマイレージ。持続可能なライフスタイルを実践しています。」

ところで、水野さんはなぜそこまで映像にこだわるのだろうか。

「様々な問題を伝えるのに映像は最も有効な手段のひとつです。たった1分の映像でも、人々に強烈なインパクトを与え、気づきを

促し、アクションを起こさせる力があります。人が行動を起こすには、気づきが必要なんです。まずは、目の前のことが世界とどう繋がっているかに、目を向ける。そして、その背景にある様々な問題を学ぶ。次に、自分はどうなアクションができるかを考える。そして、それを誰かと話し合う。ことが大切なんです。」

気づきこそがSDGs達成への第一歩なのだ。

「現在、協働パートナーを募集しているのですが、嬉しいことに、すでに多数の企業から賛同をいただいています。その背景には、多くの企業が、製品とサービスを単に提供することや消費者を満足させることから、世界をより良い場所にする、ことへと、そのミッションを進化させていることがあるのだと思います。そのミッションは、まさにSDGsの17目標そのものだと思います。いつてもよいのではないのでしょうか。」

他にもショートムービーやファシリテーター※4も募集中だ。さあ、まずはBlipparをダウンロードして、左ページにあるSDGsのアイコンを読み取ってみよう。世界と繋がるアクションがそこからはじまる。」

※1[Blippar X SDGs.TV] 水野さんが代表を務めるTREEは、Blipparのオフィシャルパートナー。Blipparは世界170ヶ国、6500万人がダウンロードした世界標準のARアプリで、SDGs.TVとコラボレーションし、SDGsに関連する短編映像をみられるほか、Photo機能を使って写真やアクションを投稿すれば、情報とシームレスにつながる。

※2[グリーンTV] 世界初の「環境」を専門としたWebTVメディア。「Think Globally, Act Locally」をコンセプトに2006年イギリスで誕生。水野氏が日本版を2007年にスタート。

※3[フードマイレージ] 食品の重量×輸送距離=フードマイレージ。食料の輸送に伴って排出されるCO2が地球環境に与える負荷に着目。日本のフードマイレージは約9000億t/kmあり、韓国・アメリカ・ドイツなどと比べて3倍の負荷だ。 ※4[ファシリテーター] SDGs.TVでは、自律的思考を備えたサステナビリティ人材の育成を目指した「SDGs研修プログラム」を提供している。プログラムに協働してくれる人は「SDGs.TV公認トレーニングファシリテーター」として認定している。